発議案第4号

希望する小学4年児童にコチニン測定の実施を求める決議に
ついて

上記議案を別紙のとおり、君津市議会会議規則第14条第1項の規定により提出
します。

平成30年9月14日

提出者	君津市議会議員	須 永 和 良
賛成者	同	三 浦 章
		磯 貝 清
		榎 本 貞 夫
		奈良輪 政 五

君津市議会議長 鈴木良次様

提案理由

希望する小学4年児童に生活習慣病予防検診において、コチニン測定を行うこと
で、家庭等における受動喫煙の被害状況を把握し、もって受動喫煙の防止に繋げよ
うとするものである。

希望する小学4年児童にコチニン測定の実施を求める決議（案）

受動喫煙による健康障害を防止するための国際条約「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（FCTC）」では、「喫煙室や空気清浄機の使用では受動喫煙を防止することは出来ない」として、閉鎖空間の全面禁煙化を求めています。

また、2010年に受動喫煙防止のため厚生労働省局長通知が出されましたが、その後自治体での対策が徹底されなかったために、2012年に再度通知が出されました。その中に、「屋外であっても子どもが利用する空間では受動喫煙防止を行うように」と書かれています。さらに、日本たばこ産業株式会社（JT）もウェブサイトで、「なお、乳幼児、子ども、お年寄りなどについては、特段の配慮が必要です。例えば乳幼児や子どもに関しては、未就学期における環境中たばこ煙への曝露と喘息の悪化等の呼吸器症状との関連性について報告した疫学研究が多数あります。乳幼児、子ども、お年寄りなどは環境中の物質による刺激に対して特に敏感であったり、また自分で意思表示をしたり場所を移動したりすることが難しい場合があるため、その周りでの喫煙は控えることをお勧めします。」と記しています。

他の自治体においても、受動喫煙防止の取り組みは進んでおり、東京都では、平成30年4月1日に子どもの受動喫煙防止条例が施行され、その中では、いかなる場所でも、子どもに受動喫煙させないよう努めることが都民の責務であると明記されています。

熊谷市においては、全小学4年生を対象に公費負担で尿中のコチニン測定を行い、子どもが家庭内で受動喫煙の被害を受けているか調査し、その両親に子どもの受動喫煙防止を促す活動をしています。

よって、君津市においても子どもの受動喫煙防止の観点から、次のとおり強く要望します。

希望する小学4年児童に対し、生活習慣病予防検診において、コチニン測定を実施すること。

以上、決議する。

平成30年9月21日

君 津 市 議 会